

言狂仏念大 嵯峨

あたとまりり 愛宕詣物語



今年はおんなお話?

簡単に説明しましょう

この狂言の教訓は何やろ?



旦那は何のために詣ったんやろ?

お店が火事にならんように詣ったんやろ



火遊びに懲りて、もう火の粉が降って来ないように詣ったんやで



言狂仏念大 嵯峨



1. 旦那と供は、愛宕神社へのお詣りを済ませ、茶屋に立ち寄る

カワラケ投げて何?



高い所から煮焼きのお皿を投げる遊びで厄除けにもなるねん



狂言内で撒いた紙の模造カワラケは、土製の素焼きのカワラケに交換します



言狂仏念大 嵯峨



2. お茶を飲んでカワラケ投げを楽しみ、櫛を買って帰ろうとすると...

言狂仏念大 嵯峨



5. 供は旦那と娘を引き合わせ、母親と立ち去る。旦那は娘の顔を初めて見て、仰天! 娘は旦那にご立腹。

お詣りや厄除けの効果か...

愛嬌のある娘に旦那はまんざらでもないかも!?



そら怒るわ



言狂仏念大 嵯峨



4. 母親から、旦那の刀と羽織を差し出せば女際を認めると言われ、それを差し出して承諾を得る。

何ちゅう母親や!



そんなんで認めるなんて!

少しでも位の高い人に見染められて、娘の生活を安定させてあげたいっちゅう親心やな



美しい着物に美しいお母さんやし、お嬢さんも美しいかなと...



お詣りや厄除けも効かん男やな~

また、この頃は一夫一妻制じゃなく、2番目、3番目の奥さんも許された時代でね...



見初めたのは笠になると思うけど...



顔も見ずに見初めた? 妻子持ちの男がよくまあ、母親にこんなことを言うよね



言狂仏念大 嵯峨

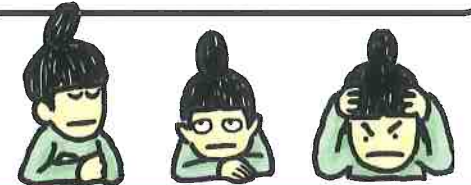


3. 旦那は、客の母親と娘に気づき、娘を見初める。旦那は供に命じ、娘との女際を母親に交渉する。

恋の行方、はたまた戒めは、これいかに?

三度思ひて後に行なう

物事を行うときは、よく考えてから実行に移した方がええよね~



火遊びもほどほどに

火の神さんが「いいかげんにしいや!」っちゅうて、火遊びを消してくれたんやな。ご利益がありましたな~



禍を転じて福と為す

娘の愛嬌ある怒り方に旦那も惹かれたかも... 結ばれたなら、二人にとってはこういうことになるな

そう解釈すると「愛宕詣」にご利益はあったんか、なかったんか...



解釈は自由自在

狂言には、これといった教訓や戒めはございません。観た人が自由に解釈し、お楽しみください



え? 教訓ないの?

